

会 議 等 経 過 報 告 書

1 会 議 名	平成 30 年度大船渡市立公民館運営審議会
2 日 時	平成 30 年 5 月 21 日（月）午後 1 時 30 分～午後 2 時 20 分
3 場 所	大船渡市交流館・カメラアホール 多目的ホールA
4 出 席 者	委員：千田尚順委員、鈴木晴紀委員、志田倫代委員、薄衣裕昭委員、村上信子委員、今野晋司委員、澤田結子委員、佐藤善公委員、朴澤和子委員、村上泰子委員 事務局：小松教育長、志田教育次長、熊谷生涯学習課長、鈴木中央公民館長、吉田館長補佐、木川田係長
会 議 等 の 内 容	
<p>1 開 会（進行：鈴木館長）</p> <p>2 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小松教育長 ・千田会長 <p>新委員紹介：鈴木館長</p> <p>事務局職員紹介：志田教育次長</p> <p>3 報 告</p> <p>報告第 1 号 平成 29 年度公民館事業の実施状況について（吉田館長補佐説明）</p> <p>■（今野委員）</p> <p>乳幼児学級の託児ボランティアが不足しているようだが、30 年度の事業実施にあたって、その確保対策はどのように考えているのか。</p> <p>（鈴木館長）</p> <p>託児ボランティアについては、育児支援団体スマイル、過去に乳幼児学級に参加したことのあるOB、公募に応募してくれた方、中央公民館職員で対応している。29 年度の託児協力者は 19 名応募してもらったが、毎回 19 人が出てきてくださるわけではなく、12 回の学習のうち、託児付きの教室は 8 回であった。ボランティアの方は平均 10 人出席してもらった。託児する子どもさんが 15 人から 20 人であり、ボランティアさんの人集めに苦労した。</p> <p>今年度は、次の 3 つの方策を取組んでいる。1 つ目は、学級生OBへの声かけは 1 年前までだったが、これを 2 年前までに拡大した。2 つ目はサンリアの中の育児支援「すくすくルーム」という団体に依頼した。3 つ目は、仕事をしていないお母さんが多いだろうという見込みで、海の星幼稚園にも依頼にいく予定である。なお、ボランティアの募集が既に始まっており、現在 13 人の申込みを受けている。あとは担当者が個人的に声掛けする予定である。</p> <p>（朴澤委員）</p> <p>私も乳幼児学級の託児ボランティアをしており、5 年目になる。3 年前はボランティア</p>	

が少なく、1人で乳幼児3人をみていた。昨年度は中央公民館の職員も協力してくださった。

成果指標で、乳幼児学級の受講生の満足度が100%であることはすばらしい。内容が充実していて、お母さん方が興味をもつものを取り入れている。例えば、スマホで写真を撮影してアルバムを作ったり、栄養を考えた調理実習も取り入れている、大変よいと思う。生きがいセミナーの満足度が下がっている理由は何か。

(鈴木館長)

生きがいセミナーは、市内11地区開催しているが、毎年参加者数が減少している。参加者は70代から80代後半である。各地区とも運営委員会を組織し、学習計画を作成し、実施している。そこに入っていない人の声が出ているのだと思う。また、いろいろな制約があって、全ての受講者に満足してもらうのは難しい状況になっている。

(千田会長)

参加者数が減っているし、働いている高齢者も人が多くなっている。参考までにシルバー人材センターの会員の平均年齢も現在73歳になっている。

当市の事業の特色として、ふるさと・おおふなとお話大賞の作品募集をしているが、大賞に選ばれた作品を読んで大変感動した。あの作品を書いた子どもさんは、本をたくさん読んでいるのではないかと感じた。

(村上信子委員)

私も大賞に選ばれた作品を読んで感動した。私の孫が東京に転校し、さびしい思いをしていたとき、はじめて声を掛けられた外国人の子だったそうで、転校する子どもの心がすっかり同じだと思った。

(鈴木館長)

越喜来小学校の先生から聞いたところ、大賞の作品を脚本にして、学習発表会で上演したとのことであり、そういう発展・広がりがあった。

(千田会長)

青少年の健全育成に適ったすばらしい企画をしていると思う。

4 協議

協議第1号 平成30年度公民館の事業計画について（吉田館長補佐説明）

■（千田会長）

昨年度の事業計画と違った点は、成人向け国際交流講座と青少年体験学習事業のようであるが。

（木川田係長）

成人向け国際交流講座として、初心者向けの英会話講座を6月から10回実施する。既に16人の定員で募集したところ、受付開始日で定員に達し、キャンセル待ちも13人受け付けている状況である。次に、国際交流講演会等を2回開催することになっている。1回目は、国際理解について、明治大学との連携事業により講師派遣をしていただく予定である。2回目は、実践編として、県の国際交流協会から外国人を招いて交流事業を実施したいと考えている。

さらに、青少年体験学習事業では、英語キャンプを7月下旬に開催する予定である。対象は未就学児から小学2年生までとしている。キャンプと称しているが、宿泊を伴わないもので、2日間行うものである。講師はALTを6名程度予定しており、詳細は現在検討中である。

(鈴木館長)

地区公民館・地域公民館役員等研修会は、毎年7月に実施しているが、今年度は市民協働準備室と連携して、6月24日にリアスホールのマルチスペースで行うことにしている。講師は明治大学の小田切先生をお願いしている。小田切先生は地域づくりの専門家である。公民館の役職員だけでなく、一般市民も対象としている。

最後に、千田会長が事業計画の承認について、出席委員に諮り、承認された。

協議第2号 大船渡市地区公民館並びに地域公民館役職員等感謝状贈呈対象者の選考方法について（吉田館長補佐説明）

提案内容に対し、質問・意見はなく、原案どおり承認された。

5 その他

事務局からは提案事項はない旨報告した。各委員からも質問・意見はなかった。

6 閉 会